



進路だより

福島県立いわき支援学校 進路指導部

第 6 号

令和5年 11月 17日 発行

中学部ワーキングウィーク

9月4日（月）から8日（金）までの5日間、今年度の中学部ワーキングウィークが実施されました。全ての生徒が午前は9時20分から12時00分まで、午後は13時15分から13時45分までの時間に、それぞれの作業班の校内実習に取り組みました。

1日を通しての作業は1年生にとって初めての体験でしたが、休憩を随時とりながら自分に与えられた仕事に取り組むことができていました。2, 3年生は昨年度までの経験を生かしながら取り組み、作業に集中する時間も長く、1年生の良いお手本となっていました。

3年生はこの期間、一人一人が1～2日間校外に出て実習をしてきました。3年生11名が校外7カ所の事業所に出向き実習をし、初めて外部での体験に緊張する様子も見られましたが、どの生徒も実習先の指導員さんの話をよく聞いて、自分の与えられた作業やいろいろな活動に取り組み、充実した2日間とすることができました。「大変だったけど、楽しかった。」「また同じ仕事をしてみたい。」など、実習後このように感想を述べる生徒もたくさんいました。

この貴重な体験を今後の作業等に生かしていってほしいと思います。



下請け作業
(社会福祉法人 いわき学園)
※就労継続支援 B 型事業所



米袋のリサイクル作業
(社会福祉法人 育成会
いわき希望の園ゆにば)
※就労継続支援 B 型事業所



ボールペンの組み立て
(校内実習)



シュレッダー作業
(社会福祉法人 エル・ファロ
自由空間)
※生活介護事業所

高等部3学年 産業現場等における実習の感想

9月11日(月)から22日(金)の9日間、高等部3年生による後期産業現場等における実習が企業6カ所、B型事業所13カ所、生活介護事業所7カ所の計26カ所で行われました。3年生にとって最後の実習ということで、生徒たちは将来の進路先の選択・決定を意識して取り組みました。生徒が取り組んできた実習での感想を紹介します。

<企業での実習>

私は、株式会社小名浜包装資材で実習を行いました。仕事内容は、ピッキング、バーコード貼り、在庫補充です。重い荷物を運んだり、どこに何があるのかを覚えて、リストを見ながら品出しすることを頑張りました。また、分からないことがあったらすぐに聞いて、仕事をできるだけ早く覚える努力をしました。これからも、体調管理に気をつけたり、相手に伝わるように話すことを心がけていきたいと思います。

<B型事業所での実習>

私は、未来工房で後期現場実習を行いました。

仕事内容は、弁当の盛り付け、洗い物、箸袋折り、弁当運びなどでした。その中でも特に、箸袋折りが上手にできました。箸袋に箸を入れる作業は細かい作業だったため難しく感じましたが、頑張ることができました。

今後は、自分から挨拶や報告をすることを目標にして頑張りたいと思います。



<生活介護事業所での実習>

僕は、いわき学園で実習をしました。

いわき学園では、バリ取り、部品の袋詰め、ペットボトルのキャップ拭きをやりました。

どの仕事も楽しく、集中して取り組むことができました。午後の活動は、文字のなぞり書きやぬり絵に取り組みました。また、水曜日はカラオケや映画のクラブの時間があり、特にカラオケの時間が大好きでグリーン「キセキ」を大きな声で歌えたことが楽しかったです。

